2022
11.12(土)
|
12.15(木)

企画展

鷹狩

Thematic Exhibition
The World of Japanese Falconry

特別公開

国宝
源氏物語絵巻
蓬生・柏木(二)

2022年11月19日(土)ー11月27日(日)

Special Exhibits
National Treasure
Two Scenes of
The Tale of Genji Illustrated Scrolls

開館時間	午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日	月曜日
	※年末年始(2022年12月16日(金)～ 2023年1月3日(火))
観覧料	一般1,200円 / 高大生700円 / 小中生500円
	※20名様以上の団体は一般1,000円 / 高大生600円 / 小中生400円
	※土曜日は高校生以下入館無料
主　催	徳川美術館・名古屋市蓬左文庫

徳川美術館
THE TOKUGAWA ART MUSEUM
TEL (052)935-6262 FAX (052)935-6261

蓬左文庫
HOSA LIBRARY, CITY OF NAGOYA
TEL (052)935-2173 FAX (052)935-2174

〒461-0023 名古屋市東区徳川町

鷹狩

鷹狩（たかがり）は鷹を用いて獲物を捕らえる狩りで、日本でも古代から江戸時代にかけて、天皇や貴族、武士の間で好んで行われました。鷹狩は単なる狩りに留まらず、遊興（ゆうきょう）でもあり、権威の象徴でもあり、儀礼的な側面も持つという様々な意味を持ち合わせていました。こうした華やかな側面が注目される一方、狩りができるようになるまで鷹を育て上げる技術や鷹狩を行う場所の管理なども必要で、鷹匠（たかじょう）や村の人々などがその役割を担っていました。

本展覧会では、鷹狩の様子を描いた華やかな屏風や巻物、鷹狩の道具を中心にご覧いただきつつ、尾張藩の鷹狩に関わった人々や場にも焦点を当て、美術作品と歴史史料の双方から鷹狩の世界を紐解いていきます。

雪中鷹捉搦鶴図（部分）　狩野養川院惟信筆　江戸時代　18～19世紀

鷹狩図屏風　六曲一双の内　左隻　江戸時代　18世紀　斉藤芳克氏寄贈

鷹狩絵巻　二巻の内　上巻（部分）　江戸時代　17～18世紀（徳川林政史研究所蔵）

企画展「鷹狩」の開催にあたり、現在も鷹狩をされている、ごまきち氏にご協力いただきました。展覧会期間中、名古屋市蓬左文庫ガイダンスホールでは、ごまきち氏に描いていただいた鷹狩にまつわるマンガなどをお楽しみいただけます。

▼Twitter

ごまきち

タカと生き、描く。愛知県在住。著書に『鷹の師匠、狩りのお時間です1・2』（星海社COMICS）。Twitter：@outesama

黒塗蒔絵餌合子・覆
（鷹狩道具一式の内）
徳川慶勝（尾張徳川家14代）所用
江戸時代　18～19世紀

尾張家御鷹場絵図
江戸時代　18～19世紀

表面の作品　鷹図屏風　八曲一双の内　右隻（部分）　神谷晴真筆　江戸時代　19世紀
国宝　源氏物語絵巻　柏木（二）

※所蔵の記載がない作品は全て徳川美術館蔵

関連企画

※講座への申込方法など、詳しくは当館ホームページをご覧ください。

土曜講座

「史料からひもとく尾張徳川家 その2 －鷹狩の世界－」

学芸員 板谷寿美

日　時　11月26日（土）午後1時30分～午後3時（開場:午後1時）
定　員　60名（事前申込制ですでに満席/空席がある場合のみ当日受講可）
会　場　講堂
参加費　800円（入館料別途要）

学芸員の見どころトーク

日　時　11月20日（日）午後2時～午後2時30分（開場:午後1時30分）
定　員　60名 当日会場にて先着順・入館者聴講自由
会　場　講堂

徳川園催事

錦を纏う
徳川園　紅葉祭
11月19日（土）～12月4日（日）

次回展覧会

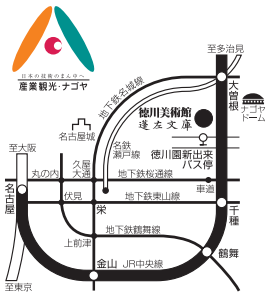
企画展
「徳川文房博」
2023年
1月4日（水）～1月29日（日）

龍文箔絵軸筆　銘 大明万暦年製
徳川義直（尾張家初代）所用

オンラインチケット販売

便利でお得な前売り券を下記QRコードよりご購入いただけます。

発売日
11月1日（火）午前10時～



〒461-0023 名古屋市東区徳川町

●基幹バス「徳川園新出来」下車徒歩3分
●メーグル「徳川園・徳川美術館・蓬左文庫」下車
●JR中央線「大曽根駅」下車南口より徒歩10分

新型コロナウイルス感染症対策　●マスクを着用してご来館ください。●入口にて検温を実施しております。●展示室内での会話はお控えください。●今後の状況によっては、展覧会・イベントが変更・中止となる場合がございます。